

平成22年度第10回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：平成22年10月5日（火）15：30～16：55 評議会室
出席者：曾我理事長、川口副理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事
井筒理事、横山理事、荒川監事、奥村監事
事務局：堀部事務局次長、坪田総務グループ統括、小島財務グループ統括、
高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、
藤野教務グループ統括、郡田図書情報グループ統括、
久保田地域貢献研究推進グループ統括、山田副参事、小椋副主幹

役員会に先立ち曾我理事長から横山俊夫氏に対して辞令が交付され、横山理事から就任挨拶があった。また、出席者の自己紹介があった。

平成22年度第9回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）について、
原案のとおり承認された。

議 題

（報告事項）

1 新学科開設準備状況と課題について

菊池理事より資料に基づき、新学科のカリキュラム、学生の留学先、あるいは入学者定員等についての現状や課題について報告があった。

2 平成22年度卒業・修了予定者の進路状況について

杉野統括より資料に基づき報告があった。本年度の現状は、求人数がピーク時と比較し4割減、また昨年と比較しても2割減となっており、現在の内定率も過去最低であった昨年よりもさらに悪いという報告があった。また、このような状況の中で、大学としては、元民間企業の人事採用担当者を採用し就職相談を行ったり、各教員との連携を深めること等で対応を行っているとの報告があった。

（その他）

1 平成23年度予算について

川口副理事長より平成23年度予算について、滋賀県の財政状況が非常に厳しいため、運営費交付金が約6,100万円減額される見込みであることが報告された。また、今后来年度予算の概要がまとまり次第役員会で審議いただきたいとの説明があった。

2 光熱費の削減について

曾我理事長より省エネ、CO2排出量削減のため、電気メーターを研究室毎に設置することについて、費用対効果も含め検討中であるとの報告があった。電気代を削減するためには、データをとり、適切な手法で削減していくことが重要であるとの意見があった。